

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年8月9日
【四半期会計期間】	第30期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社カネミツ
【英訳名】	KANEMITSU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金光 俊明
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	078-911-6645
【事務連絡者氏名】	執行役員 業務本部副本部長 小田 一幸
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	078-911-6645
【事務連絡者氏名】	執行役員 業務本部副本部長 小田 一幸
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第1四半期連結 累計期間	第30期 第1四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	1,344,496	1,709,172	6,164,040
経常利益 (千円)	31,330	148,694	307,638
四半期(当期)純利益 (千円)	32,251	165,295	173,119
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	52,775	234,091	105,884
純資産額 (千円)	5,417,570	5,635,867	5,437,410
総資産額 (千円)	8,106,987	8,661,427	8,528,650
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	6.30	32.32	33.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.6	63.8	62.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ、緩やかな回復を続けていますが、欧州債務問題や長引く円高等により、先行きについては依然不透明な状況にあります。

自動車業界におきましては、エコカー補助金の追い風を受けて国内販売が好調に推移し、国内生産台数は前年同四半期比62.3%増と大幅な増加となりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は1,709百万円（対前年同四半期364百万円の27.1%増加）となりました。利益面では、営業利益161百万円（対前年同四半期123百万円の316.9%増加）、経常利益148百万円（対前年同四半期117百万円の374.6%増加）、四半期純利益165百万円（対前年同四半期133百万円の412.5%増加）となりました。

セグメント別では、日本は売上高1,345百万円（対前年同四半期326百万円の32.0%増加）、営業利益89百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

タイ現地法人は売上高322百万円（対前年同四半期36百万円の12.6%増加）、営業利益62百万円（対前年同四半期2百万円の3.9%減少）となり、中国現地法人は売上高109百万円（対前年同四半期50百万円の83.4%増加）、営業利益11百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円の増加となりました。流動資産は83百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加56百万円、受取手形及び売掛金の増加51百万円によるものであります。固定資産は48百万円増加しましたが、主として建設仮勘定の増加80百万円、投資有価証券の減少33百万円によるものであります。

負債は3,025百万円となり、65百万円減少しました。流動負債は122百万円増加しましたが、主としてその他の流動負債の増加265百万円、支払手形及び買掛金の減少35百万円、賞与引当金の減少50百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少26百万円によるものであります。固定負債は188百万円減少しましたが、主として長期未払金の減少147百万円、長期借入金の減少24百万円によるものであります。

純資産は5,635百万円となり、198百万円増加しましたが、主として利益剰余金の増加132百万円、為替換算調整勘定の増加84百万円、その他有価証券評価差額金の減少31百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.8%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、36百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,119,477	5,119,477	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	5,119,477	5,119,477	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	5,119	-	551,099	-	445,219

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 自己株式 6,000	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,111,800	51,118	同上
単元未満株式	普通株式 1,677	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,119,477	-	-
総株主の議決権	-	51,118	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式51株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カネミツ	兵庫県明石市 大蔵本町20-26	6,000	-	6,000	0.12
計	-	6,000	-	6,000	0.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,936	1,335,791
受取手形及び売掛金	1,732,550	1,784,270
商品及び製品	43,784	45,389
仕掛品	354,464	299,466
原材料及び貯蔵品	77,272	117,310
繰延税金資産	59,025	89,914
その他	61,199	19,074
流動資産合計	3,607,233	3,691,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,971,747	2,008,135
減価償却累計額	1,046,278	1,074,152
建物及び構築物(純額)	925,468	933,982
機械装置及び運搬具	5,057,061	5,098,915
減価償却累計額	4,091,262	4,149,956
機械装置及び運搬具(純額)	965,798	948,958
工具、器具及び備品	555,688	576,906
減価償却累計額	461,164	480,366
工具、器具及び備品(純額)	94,524	96,539
土地	2,006,661	2,012,427
建設仮勘定	333,885	414,569
有形固定資産合計	4,326,338	4,406,477
無形固定資産	76,953	79,267
投資その他の資産		
投資有価証券	378,859	345,729
その他	139,265	138,735
投資その他の資産合計	518,124	484,464
固定資産合計	4,921,417	4,970,209
資産合計	8,528,650	8,661,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	952,744	917,467
短期借入金	600,746	603,337
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	146,259	119,283
未払法人税等	21,000	6,267
賞与引当金	125,091	74,869
役員賞与引当金	24,000	6,000
その他	429,457	695,043
流動負債合計	2,359,300	2,482,268
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	147,707	123,136
長期未払金	193,834	46,380
繰延税金負債	35,403	31,733
退職給付引当金	252,581	255,311
その他	62,412	56,730
固定負債合計	731,939	543,292
負債合計	3,091,240	3,025,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,099	551,099
資本剰余金	445,219	445,219
利益剰余金	4,469,593	4,601,651
自己株式	6,548	6,579
株主資本合計	5,459,364	5,591,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,152	46,813
為替換算調整勘定	200,417	115,573
その他の包括利益累計額合計	122,264	68,759
少数株主持分	100,311	113,235
純資産合計	5,437,410	5,635,867
負債純資産合計	8,528,650	8,661,427

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,344,496	1,709,172
売上原価	1,069,230	1,272,631
売上総利益	275,266	436,541
販売費及び一般管理費	236,426	274,609
営業利益	38,839	161,931
営業外収益		
受取利息	218	194
受取配当金	2,663	3,037
助成金収入	2,778	-
その他	459	2,196
営業外収益合計	6,119	5,428
営業外費用		
支払利息	8,288	9,011
為替差損	5,338	9,649
その他	0	4
営業外費用合計	13,627	18,666
経常利益	31,330	148,694
特別損失		
固定資産売却損	21	281
固定資産除却損	110	1,216
特別損失合計	132	1,497
税金等調整前四半期純利益	31,198	147,196
法人税、住民税及び事業税	9,069	4,863
法人税等調整額	16,563	29,380
法人税等合計	7,494	24,517
少数株主損益調整前四半期純利益	38,692	171,714
少数株主利益	6,441	6,418
四半期純利益	32,251	165,295

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,692	171,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,367	31,339
為替換算調整勘定	23,449	93,717
その他の包括利益合計	14,082	62,377
四半期包括利益	52,775	234,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,360	218,800
少数株主に係る四半期包括利益	8,414	15,291

【会計方針の変更】

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	81,701千円	81,799千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	33,238千円	6.50円	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	33,237千円	6.50円	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	タイ	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,001,219	283,295	59,981	1,344,496	-	1,344,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,755	2,604	-	20,359	20,359	-
計	1,018,975	285,899	59,981	1,364,856	20,359	1,344,496
セグメント利益又は損失 ()	26,524	65,436	896	38,014	824	38,839

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額824千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用8,282千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等9,107千円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	タイ	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,284,548	314,634	109,989	1,709,172	-	1,709,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	60,658	7,391	-	68,049	68,049	-
計	1,345,207	322,025	109,989	1,777,222	68,049	1,709,172
セグメント利益	89,866	62,876	11,889	164,632	2,700	161,931

- (注)1. セグメント利益の調整額 2,700千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用8,733千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等6,032千円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円30銭	32円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	32,251	165,295
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	32,251	165,295
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,113	5,113

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月7日

株式会社カネミツ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 片岡 茂彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西方 実 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カネミツの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カネミツ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。